令和 ４ 年 １ 月

令和４年度
第７回アドミッション・スペシャリスト能力開発研修会（パイロット事業）について

九州大学 基幹教育院
次世代型大学教育開発センター

１．はじめに

現在、各大学において多面的・総合的な評価入試を主な内容とした入試改革の計画立案が進行しています。しかし、この多面的・総合的な評価入試において判定を行うには、高大接続領域全般に関わる知識・スキル・コンピテンシーが必要とされるにもかかわらず、我が国では、経歴・職歴や専門実務領域、専門研究領域への高い依存性により個人の力量において業務が遂行されているという現状です。また、その原因の一つとして、他の領域の能力開発をする機会がほとんどない点が挙げられます。

今回の入試改革では、新たな入学者選抜方法、学力評価方法の開発、評価方法に関する専門人材の育成と教員の評価力向上等に関する具体的な検討が、高大接続答申をはじめ高大接続システム会議等で求められています。現在の高校までの教育成果を評価して大学教育へ移行できるかどうかを質・量の両面で対応して判定するには、高大接続領域の全般的な知識・スキル・コンピテンシーを持つ専門性の高い人材開発が必要になります。

そこで、このたび本学では、平成28年度に採択された教育関係共同利用拠点事業「次世代型大学教育開発拠点」(九州大学)において、アドミッション・スペシャリストの能力開発の研修講座を試行実施いたします。第７回目は、大学入試における広報戦略とその実践など、アドミッションに関する中級の知識を扱います。奮って、参加申し込みください。

今後、このようなカリキュラムに則って体系的に学べる機会を創出しますので、多くの方にご参加いただき、アドミッションにおける必要不可欠な人材育成にご協力いただければと思います。

２．主催・共催
主催：九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター
共催：一般社団法人　大学アドミッション専門職協会

３．日時・会場

令和４年４月１７日（日）　　13:00～15:00
※ 開始約5分前より入室を開始予定
Zoom ミーティングによるオンライン開催で実施します。

４．開講コースと対象者

＜アドバンス編（中級）＞

大学教職員の方に限定した開催とします。特に、新規採用されたアドミッション（入試）業務従事者、大学入学者選抜業務を担当する学部教員や入試関連委員会委員、入試課でアドミッション（入試）業務に従事されている事務職員の方。すでにアドミッション業務の経験はあるが、アドミッション・スペシャリストを目指している方、および、今後、アドミッション・スペシャリストを目指したい方の参加をお待ちしております。

５．定員と受講料

両日とも定員２００名とします。受講料は徴収しません。（拠点事業経費による為）

６．アドミッション・スペシャリスト能力開発研修会の内容とスケジュール

目　的：本研修では、アドミッション業務担当者が獲得しておきたいアドミッション領域の知識やスキルを修得し、翌日から実践できるようになることを目的としています。

進め方：知識・スキルの講義及び個人・グループでのワーク等を取り入れながら進めます。

タイムテーブル

令和 4 年 4 月 17 日（日）

時限	科目	担当	内容
13:00-15:00	講義 1 ［入試戦略・マーケティング企画］ 『学生募集広報の戦略と実践』を深掘りする	岡山県立大学 喜村仁詞 香川大学 岡本崇宅 山形大学 門馬甲兒 香川大学 竹内正興 名古屋大学 永野拓矢	『学生募集広報の戦略と実践』(大学教育出版,2021年)の執筆陣を招き、「イントロダクション:大学の価値は誰が決めるのか?」(喜村）、「予備校へ何を伝えると、志願者確保が可能か」（岡本）、「高等学校における進路指導の流れについて」（門馬）、「大学入試模擬試験と高校の進路指導」（竹内）、「志願に結び付く高校訪問とは(全学編・学部編)」(永野)というタイトルで本の中で伝えきれなかった内容について15分ずつご講演いただき、その後、45分間のフリートークセッションを行う。

７．申し込みの方法

下記リンク先の申込フォーマットにてお申し込みください。

https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/form/

※参加申込者には開催日前日までにzoomアクセス先を申込メールアドレスにお送りいたします。くれぐれもメールアドレスをお間違えの無いようお願いいたします。

【申し込み期間】

2022.3.17（木）～2022.4.8（金）17：00

※ただし、定員に達し次第受付を終了いたします。

８．参加者へのお願い

・パイロット事業のため、アドミッション・スペシャリスト能力開発研修会について詳細なアンケートを実施する予定です。ご協力をよろしくお願いします。
・テキストは、当日配布いたします。
・当日は報告書等利用のため、講義内容を録画いたしますが、参加者各自による撮影当は固くお断りいたします。
・営業もしくは営利を目的とする行為は禁止します。
・参加者各自にて Zoom を使用できる環境に設定をお願いします。

９．開催について

このセミナーは、文部科学省による教育関係共同利用拠点「大学の教職員の組織的な研修等の実施機関」における「次世代型大学教育開発拠点」（九州大学、2016～2023年度）の採択を受け、開催されるものです。

１０．問い合わせ先

担当：九州大学　基幹教育院　次世代型大学教育開発センター
Mail：kyoten★artsci.kyushu-u.ac.jp
※メールアドレスの★を@に変更してください。タイトルに「4/17AO養成講座」とご記入くださいますと幸いです。

１１．その他

・今後、下記ルーブリックに基づき、ビギナー編（初級）、アドバンス編（中級）、エキスパート編（上級）を順次開講します。

分類	Level	達成目標
制度・政策	初級	日本における大学入試に関わる制度や政策に関する基本事項を理解できる。
	中級	国外の大学入試に関わる制度や政策の特徴を理解し，日本の制度と比較して理解できる。
社会責務・倫理	初級	アドミッション・オフィサーとしての社会的責務や倫理に関する基本事項を理解し，実践することができる。
高校生・高校教育	初級	中等教育の仕組みや高校生の基本的な行動を理解できる。
	中級	高等学校のカリキュラムや高校生の進路選択の傾向について理解できる。
	上級	高等学校の進路指導の考え方や特徴を理解し，高校生の進路選択や受験行動を考察することができる。
大学生・教育	初級	高等教育の仕組みや大学生の実態を理解する。
	中級	中等教育と高等教育の教育的な接続についての意義や課題点を理解できる。
統 計 ・テスト理論	初級	統計やテスト理論に関する基本的な事項を理解できる。
	中級	分析ソフトを利用して統計的な処理や分析結果の解釈ができる。
	上級	多変量解析や項目反応理論など高度な統計手法を用いたデータの分析ができる。
評価技法	初級	大学入試における基本的な評価技法の特徴を理解し，実際の適用場面を想定できる。
	中級	各評価技法の効果検証に関する方法を理解し，実践できる。
	上級	複数の評価技法を組み合わせて多面的な評価を行うための具体的な提案ができる。
追跡調査法	初級	追跡調査の意義と基本的な考え方を理解できる。
	中級	追跡調査の基本的な技法の理解と実践ができる。
	上級	具体的な事例に対して，最適な追跡調査を選択し，分析結果の解釈と具体的な提案ができる。
社会調査法	初級	社会調査の基本的な技法を理解することができる。
	中級	質問紙調査や聞き取り調査などの具体的な技法を活用することができる。
	上級	調査によって得られたデータを分析し，報告書としてまとめることができる。

分類	Level	達成目標
コミュニケーション	初級	アドミッション業務において重要なコミュニケーション場面を想定することができる。
	中級	アドミッション業務の各場面において，適切なコミュニケーションを行うことができる。
	上級	広報活動において，相手を惹きつけることができるような魅力的なコミュニケーションを展開できる。
入試企画	初級	企画立案のために必要な情報を収集し，課題点を整理することができる。
	中級	整理した情報をもとに，具体案を策定することができる。
	上級	策定案を実現するために必要な体制を整えたり，建設的な議論を展開できるような提案ができる。
入試戦略・マーケティング企画	初級	戦略策定のために必要な情報を収集し，課題点を整理することができる。
	中級	整理した情報をもとに，具体案を策定することができる。
	上級	策定案を実現するために必要な体制を整えたり，建設的な議論を展開できるような提案ができる。
高大連携・高大移行企画	初級	高大連携活動の目的や種類，その特徴を理解できる。
	中級	高大連携活動プログラムの具体的な企画ができる。
	上級	高大連携・移行に関する企画を実現するために必要な体制を整えたり，建設的な議論を展開できるような提案ができる。
グローバル戦略	初級	海外からの学生獲得に関する基本的な仕組みを理解できる。
	中級	大学におけるグローバル戦略の事例を知っている。

・本研修会は、以下のスタッフにより企画・運営が行われております。

九州大学　基幹教育院 次世代型教育開発センター
運営委員　九州大学 人間環境学研究院 教授 木村拓也（責任者）
運営委員　佐賀大学 アドミッションセンター 教授 西郡大
運営委員　京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 教授 山本以和子
専門委員　九州大学 アドミッションセンター 准教授 立脇洋介

以上